

なぜ、ZEB建築物が採用されるのか？

● ZEB補助金について

〈環境省〉ZEB普及促進に向けた省エネルギー建築物支援事業

ZEB普及促進に向けた省エネルギー建築物支援事業は、ZEBの更なる普及拡大のため、新築/既存の建築物ZEB化に資するシステム・設備機器等の導入を支援するため、補助金を給付するものです。

補助率は、既存建築物の場合は2/3の補助、新築建築物の場合はZEBランクに応じて決まり、1/4~1/2の補助となっています。補助金の上限は3~5億円です。

延べ面積	補助率等	
	新築建築物	既存建築物
2,000㎡未満	『ZEB』1/2 Nearly ZEB 1/3 ZEB Ready 対象外	『ZEB』2/3 Nearly ZEB 2/3 ZEB Ready 対象外
2,000㎡~10,000㎡	『ZEB』1/2 Nearly ZEB 1/3 ZEB Ready 1/4	『ZEB』2/3 Nearly ZEB 2/3 ZEB Ready 2/3
10,000㎡以上	『ZEB』1/2 Nearly ZEB 1/3 ZEB Ready 1/4 ZEB Oriented 1/4	『ZEB』2/3 Nearly ZEB 2/3 ZEB Ready 2/3 ZEB Oriented 2/3

補助対象設備 (例)



Low-E複層ガラス・断熱材



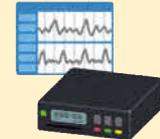
高効率空調設備



高効率換気設備



太陽光発電設備

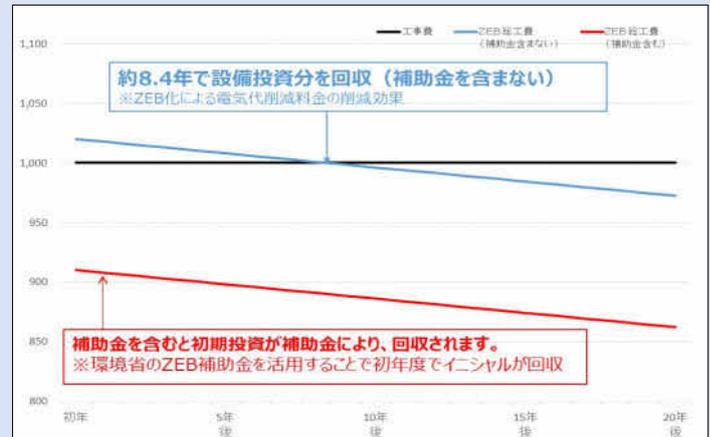


BEMS設備

● ZEB化の投資回収シミュレーション (イメージ)

新築建築物をZEB化する場合、従来に比べて初期負担額が若干大きくなりますが、光熱費が削減されるため、**約5年~10年程度で初期負担の差額を回収**できる見込みです。

また、補助金が支給される場合は、多くの場合、初期負担額の時点で従来建築よりも小さくなります。



● 建築主がZEB化を採用する大きな理由

① 光熱費の削減による投資回収効果・ランニングコストの低減

上記のとおり、建築物をZEB化すると初期投資が少し増えますが、光熱費が削減され設備投資分を回収でき、ランニングコストも安くなるため将来的な負担が軽くなります。

② 企業イメージの向上

ZEB化をすると頑張った節電等をせず結果として、脱炭素・環境負荷低減+光熱費の削減ができるため、会社としては企業イメージの面でも経営面でもプラスになります。

③ 補助金による初期投資の回収

補助金により初期投資の増額分を賄うことができるため、大きな負担軽減となります。

以上のような理由から、ZEB化を採用する建築主の方が増えてきています。



(株)すこやかホールディングス様



(株)仲本工業様 新社屋